

(2)北九州市基本構想・基本計画

◆策定：平成20年12月策定（※平成25年12月改訂）

「元気発進！北九州」プランの概要

北九州市は2020年度（平成32年度）に向け、新しいまちづくりのビジョンを示した北九州市基本構想・基本計画～「元気発進！北九州」プラン～を策定しました。このプランに基づき、明るい北九州市を築くため、市民のみなさんと一緒に、新しいまちづくりへ元気に発進していきたいと思えます。

まちづくりの目標

人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち

4つの基本方針

「まちづくりの目標」を実現するために、4つの基本方針に沿ったまちづくりをバランスよく進めます。

1

人づくり

～多様な人材が輝くまちをつくる～
子どもから高齢者まで、あらゆる年齢層の「人」を、まちの最大の財産として育みます。

3

産業づくり

～元気で人が集まるまちをつくる～
ものづくり産業やサービス産業などの振興を図り、市民がいきいきと働くことができる環境をつくれます。

2

暮らしづくり

～質の高い暮らしができるまちをつくる～
市民が、住んでよかった、ずっと住み続けたいと思える「暮らし」を実現します。

4

都市づくり

～便利で快適なまちをつくる～
快適な市民の暮らしや活発な産業活動、人の交流を支える「都市」をつくれます。

～まちづくりの指針～

北九州市基本構想

平成32年（2020年）頃を展望したまちづくりの理念

～目標年次：平成32年度～

北九州市基本計画

基本構想を実現するための施策を体系化（平成25年12月変更）

～毎年度予算～

予算事務事業

毎年度の予算編成において構想・計画の表現に必要な事業を選定

～各分野における取組～

分野別計画

教育・福祉・都市計画など各局・委員会等が策定・実施する計画により、構想・計画に示すまちづくりを実現

（注）
「基本構想・基本計画」に基づき
「分野別計画」に基づき
「予算事務事業」に基づき

まちづくりの5つのちから～本市が持つ「ちから」を活用する～

まちづくりを進めるにあたっては、次の5つの「ちから」を発揮していきます。

市民のちから

～みんなでまちをつくる～

行政のちから

～新しい市役所になる～

連携のちから

～まちとまちのつながりを強める～

資産のちから

～まちの「たから」を活かす～

自然のちから

～自然の恵みを活かす～

市民が自信と誇りを持てる “北九州ブランド”を構築します！

北九州ブランドの構築 ～北九州独自のブランドをつくる～

歴史や文化、産業、自然などの本市の優れた資源を磨き、北九州ブランドを生み出し、市民の自信と誇りをみんなで育てていきます。

都市ブランド1

世界の環境首都

国際的に高い評価を受けている環境の取組みをさらに発展させ、世界の人々から「世界の環境首都」と認められるまちをつくります。

- ◎環境モデル都市として低炭素社会の実現
- ◎まちの美しさを体験できる都市づくり
- ◎環境国際協力による地球環境問題への貢献

都市ブランド2

アジアの技術首都

研究開発機能の強化による既存産業の高度化と新たな成長産業の集積を促進し、「アジアの技術首都」をめざします。

- ◎北九州学術研究都市をはじめとする知的基盤の充実
- ◎専門人材の育成と海外人材の活用
- ◎国内外から人が集まるにぎわいづくり



地域の新たな魅力づくり

本市独自の「政策」としてのブランド、「モノ」や「場所」に着目したブランドの構築するとともに、本市ゆかりの偉人・先人を顕彰することにより、地域の新たな魅力づくりを進めていきます。



「元気発進！北九州」プラン

I 人を育てる

【まちづくりの目標】
人と文化を育み、
世界につながる、
環境と技術のまち

II きずなを結び

III 暮らしを彩る

IV いきいきと働く

V 街を支える

VI 環境を未来に引き継ぐ

VII アジアの中で成長する

基本構想

基本計画

基本計画の第9章「各区の魅力づくり」において、
小倉南区は「豊かな自然と新しい産業が息づく躍進のまち」として、
5つのまちづくりの方向性が示されています。

- ① 公共交通網の整備や住環境のさらなる向上、子育て支援機能や高齢者福祉、文化に親しむ機会の充実など、住み続けたいと思う心温かなまちづくりを進め、地域に対する誇りと愛着を育みます。
- ② 北九州空港や九州自動車道、東九州自動車道、北九州都市高速道路などの都市基盤を活かすとともに、門司や京築をはじめとした各方面とのアクセス機能の強化を図ることにより、人やモノの交流が活発なまちをめざします。
- ③ 北九州空港跡地産業団地などの豊富な用地を活かし、また、周辺道路などの整備を図ることにより、企業誘致を進めるとともに、新しい産業と周辺環境が調和したまちづくりを進めていきます。
- ④ JR 城野駅周辺や JR 下曾根駅周辺において、交通の拠点性を活かした便利で暮らしやすいまちにするため、駅前広場や道路などの基盤整備を進めます。
- ⑤ 豊かな自然、里地・里山・里海、地元の特産品、歴史や伝統を活かした地域のブランド化に取り組み、にぎわいづくりを進めます。